

各部の名称とはたらき

MIDI IN / OUT 端子

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BCC-1-3535）で、外部 MIDI 機器に接続します。

外部 MIDI 機器を使って、本機のメモリーを最大 127 まで切り替えることができます。

※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

CTL 1,2/EXP 端子

• CTL 1,2 端子として使う

フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、TWIST や WARP への切り替え、MEMORY UP/DOWN などができます。

• EXP 端子として使う

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、エクスプレッション・ペダルのつま先側とかかと側のエフェクト設定を連続的に変化させることができます。

[MEMORY] ボタン

メモリー（MANUAL、1～4）の切り替えや保存をします。

MIDI インジケーター

選択中のメモリーを表示します。

MIDI により、メモリー 5～127 が選ばれていると、インジケーターはすべて点灯します。

[INPUT] ボタン

INPUT に接続する機器に合わせてます。

詳しくは『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

※ 全メモリーに反映されるシステム設定です。

その他のシステム設定で、DIRECT ON/OFF、CARRYOVER ON/OFF、REVERB TYPE などでも設定できます。

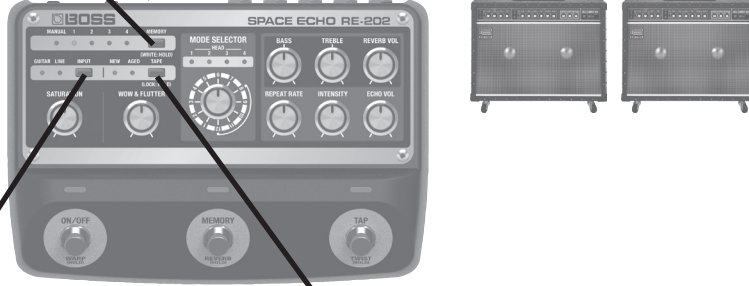
[TAPE] ボタン

新品のテープを使った音が、程よく使用したテープを使った音を切り替えます。音色と揺らぎが変化します。

• 誤操作を防ぐ（パネル・ロック）

[TAPE] ボタンを長押しすると、つまみとボタンの操作を有効（アンロック）にするか／無効（ロック）にするかを切り替えることができます。

ロック中に操作をすると、パネル上の LED が点滅表示されます。



つまみ	機能
[MODE SELECTOR] つまみ	モード 1～12 を切り替えます。4 つの再生ヘッドの組み合わせによる 12 種類のエコーが得られます。
[REPEAT RATE] つまみ	テープ・スピードを調節します。右に回すほど速くなり、エコーの間隔が短くなります。スピードにより音色も変わります。
[INTENSITY] つまみ	エコーの繰り返し音量（フィードバック量）を調節します。右に回し切ると発振します。
[ECHO VOL] つまみ	エコーの音量を調節します。
[BASS] つまみ	エコーの低域を調節します。
[TREBLE] つまみ	エコーの高域を調節します。
[SATURATION] つまみ	プリアンプの歪みとテープの磁気飽和によるコンプレッション感を調節します。
[WOW & FLUTTER] つまみ	機構的な摩擦抵抗、テープのスリップなどで発生するテープ・スピードの揺らぎを調節します。右に回すほど揺らぎが大きくなります。
[REVERB VOL] つまみ	リバーブの音量を調節します。[ECHO VOL] つまみを絞ることで、リバーブのみの使用ができます。

フットスイッチ	機能
[ON/OFF] スイッチ	押す：エコーとリバーブを同時にオン／オフします。 長押し：押し続けている間、残響効果が強くなって幻想的な音を作り出します。
[MEMORY] スイッチ	押す：メモリーを切り替えます。 長押し：リバーブをオフにします。
[TAP] スイッチ	押す：演奏曲のテンポに合わせて REPEAT RATE を設定することができます。 長押し：押し続けている間、エコー音を発振させてアグレッシブな回転感を作り出します。

各モードのヘッド組み合わせ

MODE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
再生ヘッド 1	●			●		●	●	●		●	●	●
再生ヘッド 2		●		●	●		●				●	●
再生ヘッド 3			●		●	●	●		●	●		●
再生ヘッド 4								●	●	●	●	●

※ MODE 8～12 は、Roland スペース・エコー RE-201 にはない再生ヘッド 4 を搭載したサウンドです。

メモリーに保存する

エディットした設定を保存することができます。

1. [MEMORY] ボタンを長押しします。
現在選ばれているメモリー番号のインジケーターが点滅し、書き込み待機状態になります。
2. [MEMORY] ボタンから手を離します。
3. [MEMORY] ボタンを押して保存先のメモリーを選びます。
4. もう一度 [MEMORY] ボタンを長押しして、保存を実行します。

メモリー番号のインジケーターが高速点滅し、点灯になると、書き込みが終了です。

- ※ 手順 3 の前に各つまみやフットスイッチを操作すると、書き込みが中止されます。
- ※ MANUAL に保存した場合、[TAPE] ボタンとエクスプレッション・ペダルの設定のみが保存されます。

リファレンス・マニュアル（Web）

本製品の詳しい操作マニュアルは以下のサイトでご覧いただけます。

https://roland.cm/re-202_om

- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. [MEMORY] ボタン、または [MEMORY] スイッチを押してメモリーを選びます。

ボタン／スイッチを押すたびに MANUAL→1→2→3→4 と切り替わります。

MANUAL（マニュアル）とは？

通常はメモリーに保存された設定に従ってエフェクトがかかりますが、MANUAL を選ぶと、パネル上のつまみの位置でエフェクトがかかります。このとき [TAPE] ボタンとエクスプレッション・ペダルの設定は、MANUAL に保存した設定（変更可能）が呼び出されます。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。

- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

- ※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1